

『社会で強く生きぬく子どもの育成』

もっと未来へ わくわくする未来へ歩みだそう

第009号

令和8年9月24日

大東市立深野小学校

校長 世尾 秀和

学校だより『ふこの』

◆運動会の練習が本格スタート

運動会の練習が本格スタートしています。まだまだお昼前後は暑さもあり、水分補給や体調維持は大切です。特に練習期間は睡眠を十分にとっていただき、朝ごはんをしっかり食べるなど、規則正しい生活となるよう子どもたちへのお声がけをよろしくお願いいたします。あわせて、毎日、汗や運動場の練習での土の汚れで洗濯頻度も増えてしまうかと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、体調がすぐれない場合には無理をせず、まずは体調回復を優先してください。運動が苦手なお友だちもいるかと思いますが、単に運動会が競い合うことだけの行事ではなく、当日までの練習の大切さ、仲間と協力することの大切さ、いろんなことに最後まであきらめず挑戦する大切さを学んでもらえたらと考えております。ぜひ、自分自身の持てる力を精一杯発揮して練習に取り組んでいる子どもたちを褒めていただければ幸いです。

※昨年度の運動会の様子



◆ゆっくり、じっくりで「ぼちぼち」

2学期がはじまり、通常授業となった中で、子どもたちも心や体にも疲れがたまってきている時期かと思います。子どもたちも学校生活に慣れていこうと頑張っている姿をみていて、子どもたちの成長や努力を大いに褒めてあげたいです。各ご家庭でもお子さまへのお声がけや後押しをしていただいていることにも深く感謝いたします。

しかしながら毎日頑張りを続けることはとても大変なことです。時には不安になり、悩んだりもするかと思います。そのようなときは「ゆっくり、じっくり」「ぼちぼち」でお家でも見守っていただければ幸いです。また、不安や悩みを抱えているときには他人や周りとは比べるのではなく、昨日の自分と今日の自分、今日の自分と明日の自分を比べて、自分自身が頑張れたこと、うまくできたことを振り返ることも大切です。子どもたちの昨日から今日への成長を学校でもお家でも一緒に探していきましょう。

◆学ぶ大切さ・続ける大切さ

経済協力開発機構（OECD）は先日、91の国・地域で15歳の生徒を対象に2025年に実施した「学習到達度調査」の結果を公表しました。日本は「読解力」「数学的リテラシー（応用力）」「科学コンピテンシー（課題対応力）」の3部門で世界トップレベルを維持したとのこと。日本の学力が世界トップレベルであることが示された一方で、課題もでてきています。

基礎的な習熟度に達していない割合が前回よりも増加しており、要因として読書量や家庭学習時間の減少、スマートフォンやSNS、ゲームなどに充てる時間の増加が影響している可能性があるのではないかという見解もあるようです。

また、調査によると平日に全く本を読まない中学生は全体の4割を超えているとのこと。昨今のSNS問題においても利用を心配するご家庭も多い中、SNSで真偽不明な情報などがあっても様々な情報を読み比べすることなく、即「いいね」をしてしまうことなども含めて、基礎的な習熟度の低下に繋がっているのではないかという見解もありました。

深野小学校においては、上記の課題を考え、読書の大切さ、継続的な学習の大切さなどを重視し、通常授業だけではなく、子どもたちの学力保障として、朝学習、朝読書、昼帯学習、放課後補充学習（はなまる学習）などを年間を通して継続的に行っています。

各ご家庭におかれましても家庭学習時間の確保、スマホ等の使用時間ルールを決めて、学習への促しのお声がけを引き続きお願いいたします。子どもたちには無限の可能性が 있습니다。運動や文化的な活動にも励んでいるお子さまもいるかとは思いますが、学習することは、テストのため、受験等のためだけではなく、どうすれば野球やサッカーがうまくなれるか、どうすれば試合に勝つことができるか、音楽やダンスなどにおいてのすべての取組みにおいて、「自ら考える力」・「解決する力」・「継続する力」の育みに繋がると考えます。

学校、そしてご家庭において、「学ぶ大切さ」・「続ける大切さ」を育んでいきましょう。そのことが本校がめざしている、「社会で強く生きぬく子どもの育成」に繋がると信じています。そして、夢をもって、夢にむかって一歩、一歩、歩んでくれるものと信じています。

挑戦する勇気が 未来を拓く